

令和4年第4回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菅原 福治	8	長谷川る美
2	菊池 美穂	9	畑山 和晴
3	出川 博一	10	渡邊 清美
4	浅野 直子	11	若生 英俊
5	渡邊 俊一	12	藤原 峻
6	金子 透	13	安住 稔幸
7	佐藤 浩崇	14	塩田 智明

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	11月11日(金)
受付時間	8:59

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月11日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 13 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	菅原 福治
質問方式	一括 ・ 一問一答

No. 1 質問件名 マイナンバーカード取得促進は全庁挙げて

【質問要旨】－簡明に－

本市のマイナンバーカードの交付率は51%、申請率60%（令和4年9月30日現在）です。

その中で政府は、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し「マイナ保険証」に切り替え、さらには自治体に対しての地方交付税の算定をマイナンバーカードの普及率に応じて差をつけると発表しました。

今後のマイナンバーカードの目的を考えた場合には、積極的に取り組み、早期に成果を上げなければなりません。そのためにも、全庁挙げて取り組むべきと考えます。

具体的には、誰も取り残さない草の根の取り組みとして、6公民館への出張申請の更なる強化と、マイナンバーカード取得専用カーによる個別訪問支援が必要と考えます。

そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 マイナンバーカード取得促進の現状と課題について。
- 2 「マイナ保険証」に対する見解および活用実態と今後について。
- 3 「マイナ保険証」に対して情報漏洩など、市民の不安についての見解は。
- 4 地方交付税算定に差をつける事に対する見解は。
- 5 全庁挙げてのマイナンバーカード取得の取り組みについての見解は。
- 6 6公民館への出張申請の更なる強化について。
- 7 マイナンバーカード取得専用カーによる個別訪問支援の見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	11月11日(金)
受付時間	9:06

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月11日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 2 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 金融リテラシー教育を問う

【質問要旨】－簡明に－

現代社会では金融との関わりを持つことは避けられません。金融リテラシーとは、お金と賢く付き合うために必要な、基礎知識や判断力のことです。私たち一人ひとりが、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現するため、また、巧妙になっているあらゆる特殊詐欺などから身を守るため、生活スキルとして、金融リテラシーを身に付ける必要があります。

金融庁が設置した金融経済教育研究会が示す「最低限身に付けるべき金融リテラシー」の内容は、「家計管理」「生活設計」「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択」「外部の知見の適切な活用」とされています。また、「学校における金融教育の年齢層別目標」では、金融教育の内容を4つの分野、および、小学校低学年・中学年・高学年、中学校、高等学校の年齢層別の発達段階に即して設定されています。

2022年4月から、全国的に、新学習指導要領に基づき、高校の家庭科の授業で、より本格的な金融教育が開始されました。社会に出て、経済的に自立した「確かな暮らし」を送るため、ライフステージごとに生じる家計の悩みに対応するため、成人年齢引き下げ後の金融トラブル予防のため、人生設計をたてる上でとても重要な金融知識について、小中学生のうちから少しずつ覚えていくことが大切であると考えます。

このことから、本市の金融リテラシー教育の在り方について問います。

【質問項目】－列 記－

- 1 金融リテラシー教育の重要性について、本市の認識は。
- 2 小中学生への金融リテラシー教育の必要性について。
- 3 現在、小中学生への金融リテラシー教育は、どのような内容で行われていますか。
- 4 担当する教員の、専門知識の醸成について。
- 5 金融教育の評価をどのように行っていますか。

答弁を求める者 教育長

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 郷土愛を育む教育を問う

【質問要旨】－簡明に－

急速な技術革新と社会のグローバル化の進展により、将来を見通すことが難しい時代を迎えています。このような時代に、子どもたちが夢や志を持って生きていくためには、その心身を支える基盤が必要です。

自然の中でさまざまな体験をしたり、地域の人との人間関係を深めたりしながら、郷土の歴史や伝統、文化を尊重し、故郷を愛する心を育むことは、人間形成の根幹を成す重要な教育であると考えます。

ふるさと富谷を学ぶことで、子どもたちは自分と郷土の歴史との関わりを考え、親しみを持ち、継承、発展させることへの責務を自覚します。それは、自己効力感や、愛するものを守ろうという心を育むとともに、人生を歩んでいくうえで重要な視座の確立につながり、自他と公共の精神でこれからの社会づくりに貢献できる人間へと成長させます。

小・中学校での発達段階に応じ、郷土を学びの対象とした学習の充実を図り、郷土に対する理解を深め、ふるさと富谷に対する愛着や誇りから豊かな心を育み、地域社会の維持発展に主体的に参加する意欲を養うべきと考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 郷土愛を育む教育の重要性について、本市の認識は。
- 2 現在、郷土愛の醸成につながる学習は、どのような内容で行われていますか。
- 3 社会科副読本の現状と、デジタル化について。
- 4 郷土愛に関する教育への、教員の意識について。
- 5 地域資源、人材との連携、アウトソーシング活用について。
- 6 市民歌は授業に取り入れられていますか。
- 7 児童生徒の地元への愛着と定住意向の現状を、どのように分析していますか。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	11月11日(金)
受付時間	10:15

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月11日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 とみやど事業と運営について

【質問要旨】－簡明に－

富谷宿観光交流ステーションマルシェ広場屋根設置工事は、令和4年度一般会計補正予算(第1号)で提案され、設計監理費4百万円・工事費3千万円で可決されました。本予算は、公募型プロポーザル執行として公告(令和4年5月20日付)され、7月25日契約されました。

10月21日開催の「議員全員協議会」の場で、本件の設置場所を変更したい旨の説明がありました。これらの経緯を含め、本件の取り扱いについて質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 とみやどの来場者数の動向(開業から先月までの推移)は。
- 2 テナントとの賃貸借契約の内容は。
- 3 地域商社における新商品開発(補助金1千万円)の状況は。
- 4 富谷宿観光交流ステーションマルシェ広場屋根設置工事は、なぜ公募型プロポーザルの執行としたのか。
- 5 富谷市公告第102号の訂正はしないのか。

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 複合施設整備に係る補助金は

【質問要旨】－簡明に－

現在進められている複合施設整備に関連した、都市構造再編集中支援事業は「立地適正化計画」の策定が前提とされています。

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会も、既に2回開催され検討が進められています。

複合施設整備に係る補助金等の活用について質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 立地適正化計画策定業務の進捗状況と履行期間は。
- 2 公的外部資金の調達見込みは。
 - ① 都市構造再編集中支援事業交付金（国土交通省）
 - ② 国のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）関連補助金（環境省、経済産業省、国土交通省）
 - ③ 地方創生拠点整備交付金・地方創生推進交付金（内閣府）
- 3 供用開始を令和7年度にしているが、計画通り見込めるのか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	11月11日(金)
受付時間	11:26

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月11日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 17 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 健康対策について

【質問要旨】－簡明に－

コロナ禍における社会や生活環境も変化し、以前のような日常を取り戻すことがなかなか出来ない状況が続く中で、健康面の不安材料は少しでも取り除き、支援に繋がる取り組みを求めたい。前回は帯状疱疹のワクチン接種の補助に関する支援を求めました。また、これまでも子宮頸がんワクチンへの個別周知について取り上げてきましたが、子宮頸がんワクチンが11月8日に厚労省の審議会で来年4月より定期接種になるということが了承され、今までの4価HPVワクチンに加え9価HPVワクチンの有効性が示されました。その上で、キャッチアップ対象者（H9～H17）についても、丁寧な周知が必要であると考えます。

市民の健康への意識向上と児童・生徒のがん教育の推進、障がい福祉計画と障がい児福祉計画も来年最終年度を迎えますが、医療的ケア児等への支援についてなど、本市の取り組みを伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 厚労省の審議会で、来年4月より子宮頸がんワクチンの定期接種が了承されました。それに伴う、対応とキャッチアップ対象者への周知について伺います。
 - 2 令和4年第3回定例会で質問しました帯状疱疹のワクチン接種費用助成について、再度検討を求め、市民の健康対策の推進を進めるべきではないか伺います。
 - 3 コロナ禍における生活習慣の変化に伴う、市民の健康意識等の変化や健診等の受診率はどのように判断されているのか伺います。
 - 4 病気に対する認識を学ぶ環境も必要であると捉え、児童・生徒に対する「がん教育等」についての学びを伺います。
 - 5 令和5年が最終年度となる障がい福祉計画と障がい児福祉計画の進捗状況と、医療的ケア児支援法が可決されて1年が経ちますが、医療的ケア児への本市の関係機関との連携などについて伺います。
-

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 中間層世代への生活支援について

【質問要旨】－簡明に－

本市の交通支援には、高齢者支援として「とみぱす」や市民バスの運行、デマンド型交通など、市民の足となる交通対策が推進されています。

しかしながら、以前から高校生の通学に公共交通機関利用に対する定期代等の一部支援を求めてきましたが、一番お金のかかる子育て世代への支援が進まない状況もあります。現在の物価高騰や社会情勢から、家計に及ぼす影響から子どもたちへのしわ寄せも少なくありません。塾や習い事を止めるなど変化が見られます。

交通対策を進めている本市において、定期代等の支援を求める市民からの声も根強く、中間層世代の子育て支援施策がほとんどない状況です。泉中央駅への送迎も多く冬季の自転車通学等の危険な状況もあり、中間層世代への生活支援と定期代等の交通支援は必要であると思い、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 高校生の交通費補助の支援を求め、見解を伺います。
- 2 物価高騰による中間層世代への生活支援策が必須であります。働く世代への支援も未来を担う子どもたちへの投資として、高校入学時の支援など、期間も検討しながら支援策の構築を図るべきであると考え、当局の見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 交通安全対策について

【質問要旨】－簡明に－

本市の交通安全対策においては、住宅地における交通網の現状も課題が多くあります。住宅周辺の交通量の対策は、現状を踏まえた対応もある一方で、改善が見られない課題について、思い切った対策を講じる必要もあるという認識から、国道4号線からあけの平北入り口より大清水団地へ抜ける車両について、さまざまな対策を講じる必要があると考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 生活道路の観点から車両減少に結び付かない現状と課題について伺います。
- 2 今後、どのような対策を講じられるのか伺います。
- 3 横断歩道の移動や通学路としての歩道確保は、どのような調査が必要か伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	11月11日(金)
受付時間	14:16

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月11日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 インフルエンザ予防接種費の助成を求める

【質問要旨】－簡明に－

インフルエンザ感染は2020年と22年に於いては極めて低水準でありましたが、今季は新型コロナウイルス感染と同時流行の予想される事が懸念されておると言われております。更には、同時感染すると重症化や死亡率が高まるとの研究報告もあります。

今日の、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、ロシアのウクライナ侵略などによる物価高騰などに住民の生活は厳しさを増しておる現状であります。若生市長もこのような現状をご認識の基、コロナ対策や住民生活の安定のため速やかに、あらゆる対策、施策を展開されて来られてきた事に対し、市民の一人としても感謝を申し上げる所ではありますが、尚一層の市民への生活の安定、福祉の向上、子育て支援の拡充を目指さなければなりません。

そこで、生後6ヶ月以上からの全ての市民に対しインフルエンザワクチン予防接種費用助成を求め、次の項目にて質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 県内市町村でインフルエンザワクチン予防接種費用の助成を行っている自治体について伺います。
- 2 医療機関により接種費用が異なると聞きますが、金額の差がどの位と認識されておるか伺います。
- 3 富谷市は他市町村よりもいち早く65才以上の高齢者に1500円でワクチン接種が受けられる助成に取り組んでおられておりますが、令和3年度の対象人数と予算、及び令和3年度に助成した人数と経費について伺います。
- 4 全市民を対象に（生後6カ月から12才未満の子供の2回接種を含め）一回1500円を助成した場合の経費と、これまでの年間インフルエンザワクチンの接種率から捉えての、必要となる予算額について伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	11月14日(月)
受付時間	9:03

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月14日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 8 番 金子 透

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	金子 透
質問方式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 しんまちの活性化次なる施策は

【質問要旨】－簡明に－

富谷宿起源の地しんまち地区は「とみプラ」「とみやど」の開所に伴い昭和時代の様な賑いを取り戻しつつあるように感じております。

しかし、最近の「とみやど」は来訪者の減少傾向がみられます。

間もなく全天候型の建物を増設し来訪者増を目指すとの事ですが、これで万全とは思えません。周遊性を考察して、新たな施設の整備が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 「とみやど」を含めた現在のしんまちの状況の認識は。
- 2 課題点、問題点、その解決策は。
- 3 「とみやど」来訪者減少傾向の解決策は。
- 4 令和2年12月議会で、富ヶ岡公園を有効活用すべきではとの私の一般質問に対して、富ヶ岡公園は重要な資源と考えます。「とみやど」入居者、地域サポーターなどの方と一度議論し、公園の活用を真剣に考えていきますとの答弁でした議論の結果は。
- 5 富ヶ岡公園から清水仲への農地等を取得して自然公園等、整備の検討をすべきでは。
- 6 本市の弱点である観光分野で今後取り組むべき事は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	11月14日(月)
受付時間	9:42

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月14日

富谷市議会

議長 青柳信義殿

富谷市議会議員 1 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	佐藤 浩崇
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 県が進めている4病院再編構想について

【質問要旨】－簡明に－

宮城県が進めている4病院再編構想において、青葉区にある東北労災病院と名取市にある県立精神医療センターを合築して富谷市へ移転する方針が示されています。本市は5月27日、移転先の候補地として、明石台地区のおよそ6ヘクタールにおよぶ土地区画整理事業地を宮城県へ提案しました。

メディアでも盛んに取り上げられ、患者・医療福祉関係者・地域住民それぞれの立場から、さまざまな声があがっています。それらを受け止め、課題解決に向けて議論を深めていく必要があると考えます。

【質問項目】－列記－

- 1 東北労災病院と県立精神医療センターが明石台へ移転した場合の効果について、見解は。
- 2 4病院再編に関して、執行部にはどのような声が届き、それをどのように分析していますか。
- 3 県立精神医療センターの移転においては、患者の環境変化による症状悪化を懸念する指摘がありますが、その点のケアについて、見解は。
- 4 移転先候補地取得に向けた見通しは。
- 5 移転先候補地における、通院・通勤の利便性向上が必要と考えますが、見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	11月14日(月)
受付時間	11:20

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月14日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 11 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 外出支援乗車証「とみぱす」について

【質問要旨】－簡明に－

外出支援乗車証とみぱすは、2016（平成28）年10月10日の市制施行に合わせ、70歳以上で交通機関の利用が可能な方と、18歳以上で障がい者手帳を所持する方を対象に社会参加の促進と安心安全な移動を支援する目的で導入されました。

さらに、2020（令和2）年4月からは高齢者の交通事故防止のため、60歳以上で運転免許証を返納した方も加え、より多くの市民の方に活用していただけるように利用拡大が図られました。

これらを踏まえ、とみぱすに関して、各出張所での入金受付が可能となる時期や、障害をお持ちの方が宮城交通バスを利用する際に限り、手帳を提示することについての改善策について、お伺いします。

さらに、現在バスや地下鉄等の運賃を年間2万円まで助成することになっていますが、増額を要望する声も多く聞かれますが、どの様な検討がなされているのか気になるところです。この制度が高齢者や障がいのある方の健康保持や社会参画を推進し、生涯に渡って持続可能な制度となるよう検討を進めていくことは重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 各出張所での入金受付の時期はいつ頃を予定していますか。
- 2 宮城交通バス乗車の際に、障害者手帳を提示する事に関して改善の方策は。
- 3 2万円の助成額について、今後増額も含め、持続可能な制度とするためどの様な検討がなされていますか。
- 4 総合計画にある成果目標のとみぱす交付率（高齢者50%および障がい者30%）に向けてどの様な検討がなされていますか。
- 5 現在、課題となっている点は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 不登校対策について

【質問要旨】－簡明に－

10月28日の河北新報によると、「全国の小中学校で2021年度に不登校だった児童生徒が前年度から2割以上増え、24万4,940人と過去最多になったことが27日、文部科学省の問題行動・不登校調査でわかった」と記され、不登校の小学生は8万1千498人、（前年度比28.6%増）、中学生は16万3千4百42人（前年度比23.1%増）でいずれも9年連続で増加しており、本市においては小学校52人、中学校が114人、不登校出現率は小学校1.40%、中学校が5.61%となっているという事で、本市の実態把握に基づく改善への基本的な考え方をお伺いしたいと思います。

10月27日教育民生常任委員会の視察のため、東京都八王子市にある高尾山学園に調査に伺いました。学園内には、情緒障害等通級指導学級もあり、集団の中での行動や、人とのコミュニケーションに課題がある生徒さんが、そのスキルの育成等、専門性を有する教員の指導を受けることができるそうです。西成田教室においてその点についてどうなのか、さらに高尾山学園の場合は、小中一貫校になっていますが、本市においてはその点についてどの様に考えているのか気になるところです。文科省によると、フリースクールなど民間の施設で指導を受ける等した児童生徒は21年度に約9千人と、ここ5年ほどで3倍になったという事で、本市では、小学校1名、中学校1名となっています。学びの確保や、選択肢が増えることは望ましいと思います。

不登校児童生徒を含めた誰一人取り残さない教育の実現に向けた支援の拡充は大変重要であると考え以下質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 全国平均を上回る不登校出現率を改善するための基本的な考え方は。
- 2 小学校低学年からの発達段階に応じた支援のプロセスは。
- 3 対象児童を手厚く支援するにあたり、教員等の配置は十分ですか。
- 4 本市の、フリースクールの活用が低調である現状についての見解は。
- 5 西成田教室では、コミュニケーションスキル育成のため、どのような取り組みがなされていますか。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	11月14日(月)
受付時間	16:55

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月14日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 7 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 成田東公園に大型遊具・その他の遊具設置を

【質問要旨】－簡明に－

現在、成田東地区は造成を行っており、それに伴い成田東公園も面積が拡大され、駐車場も設置されます。令和7年度には成田公民館に隣接して複合施設も完成し、成田地区は文化施設の中心となります。

そこで、複合施設の一つとして、外で遊べる大型遊具を成田公民館から徒歩で散策しながら行ける成田東公園に設置することで、広く一体化した施設となると考えます。図書館、屋内遊戯施設、カフェの場所と屋外で遊べる施設があることで選択肢も生まれ、目的に沿って選ぶことができ、雨だから屋内、晴れだから屋外と選択肢があることでのリピート効果は大きいと思います。

そこで、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 成田東公園への大型遊具の設置は、図書館等複合施設との一体化による相乗効果があると思うが、見解は。
 - 2 高齢の方でも体を動かせる、健康遊具の設置の考えは。
 - 3 インクルーシブ遊具の設置の考えは。
 - 4 大郷町にある「郷郷ランド」は、特に土日はかなりの利用者がいます。道の駅の向かい側にあるということで、利用者にとっての選択肢の一つであるため相乗効果がもたらしていると思いますが、見解は。
 - 5 図書館等複合施設と成田東公園へそれぞれ遊具を設置することで、リピーターを獲得できる効果だけではなく、成田地区にある商業施設等への波及効果も期待でき、新たな本市の文化を作り上げることとなると思いますが、見解は。
-

答弁を求める者 市長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 図書館分館の方向性は

【質問要旨】－簡明に－

成田公民館に隣接し、複合施設として図書館センター館ができますが、分館の詳しい方向性がはっきりと伝わってきません。センター館と分館の在り方を改めて示してもらいたいと思います。

【質問項目】－列 記－

- 1 全国にもない次世代型の図書館としての分館の在り方に、各地区の方々は大きな期待を寄せていると思います。地区の特徴、特性を生かし進めて行くべきと思うが、見解は。
- 2 デジタルコンテンツの重要性について、今後の方針は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	11月15日(火)
受付時間	10:12

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月15日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 5 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 予防接種に対する助成を問う

【質問要旨】－簡明に

高齢者の肺炎は、症状の重症化や長期化、死亡リスクも高くなります。予防接種を行うことで、医療費の抑制、国保保険料の上昇もおさえられます。

県内では仙台市が、子どものおたふくかぜの予防接種の一部助成等を行っています。

重症化しないためにも、接種を希望すればいつでも出来る環境が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 市として任意予防接種の推進をどのように考えているのか。
- 2 肺炎球菌ワクチンの複数回接種の考えは。
- 3 帯状疱疹及びおたふくかぜワクチン接種助成の考えは。
- 4 「風しんの追加的対策」の抗体検査、接種の状況は。
- 5 65歳以上のインフルエンザワクチンの接種状況は。
- 6 65歳以下、小児に対するインフルエンザワクチン接種助成の検討状況は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 安心してあずけられる放課後児童クラブを問う

【質問要旨】－簡明に－

年々共働きの世帯が増えています。市内の放課後児童クラブは、定員に達する児童クラブもあり、夏休み等の長期の休みには多くの児童が利用しており、手狭になっている児童クラブも少なくありません。

今後、明石台学区等の新興住宅地には、子育て世代の増加が考えられます。放課後に児童が安心して過ごせる児童クラブが必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 放課後児童クラブの利用状況は。
- 2 長期休校時等の学校施設の利用の状況は。
- 3 待機児童の状況と対応はどのようになっているのか、受け入れ体制の強化が必要では。
- 4 子育て世代の負担軽減のためにも、多子家庭に対する放課後児童クラブ利用料減免拡大の考えは。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 3 質問件名 市道維持、管理を問う

【質問要旨】－簡明に－

路面のひび割れ等が市内で目立っています。日頃のメンテナンス作業を怠れば、事故の発生にもつながります。

アプリ等を使った、修繕が必要な道路、不具合を市民から通報してもらうシステムの導入も必要です。

大規模舗装工事は、財政負担の増加にもつながることから、長寿命化のためにも普段からのメンテナンスが必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 通報システムの検討状況は。
- 2 道路のパトロールを現状どのようにされているのか。
- 3 市道の修繕や不具合等の年間の通報件数と、対応はどのようになっているのか。
- 4 今後、道路補修方法の見直しが必要では。
- 5 舗装の長寿命化修繕計画の策定が必要では。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	11月15日(火)
受付時間	10:50

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月15日

富谷市議会

議長 青柳信義殿

富谷市議会議員 10 番 若生 英俊

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市長公約の地下鉄整備構想の断念を求める

【質問要旨】－簡明に－

2022年10月発行の市長の市政報告によれば、「富谷市都市・地域交通戦略を策定し、今年度は泉中央駅から明石台地区までの地下鉄整備の調査検討を行っています。今後も基幹公共交通システムの整備に向けて検討を深めてまいります。」と記載されている。

仙台市地下鉄事業については、来年7月から、乗客数低迷を受け、運行本数の削減が公表され、経営状況の改善が急務となっている。

富谷市が、建設費全額負担し、その後も事業費の応分の負担ができるほどの財政状況でない限り、仙台市との協議の入り口にも立てないのではないかと懸念されている。

本市の一方的な構想を掲げ続けることは、仙台市当局にとっては、はた迷惑なことで、本市の議会も市民も展望のない構想にふりまわされている。

「今後も検討を深める」とあるが、8年間で何ら進展のない地下鉄延伸構想で仙台市や仙台市民をこれ以上ふりまわしてはならず、ただちに構想断念を強く求める。

本市の標準財政規模(R3年度、約103億円)で、引き続き構想を描いても、地下鉄延伸構想は机上の空論・絵に描いた餅に終わり、経費支出のみかさばり、身近な施策の加速に転換を図るべき時期にある。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 今年度の泉中央駅から明石台地区までの地下鉄整備の調査検討の内容と成果は。
 - 2 「今後も基幹公共交通システムの整備に向けて検討を深める」としているが、地下鉄整備は、来期の市長任期4年間でどこまで見通せるか。
 - 3 8年間の調査検討の中で、地下鉄構想実現に向けて進展は見られたか。
 - 4 8年間で仙台市の対応に手応えは、仙台市との協議に進展はあるか。
 - 5 赤字経営が続く仙台市地下鉄が本市に延伸する仙台市側の大義とメリットは。
 - 6 地下鉄延伸に伴う費用対便益(B/C)の試算は。
-

答弁を求める者 市長

議員名	若生 英俊
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 とみふら・富谷塾、とみやど、病院誘致にかかる市政運営を問う

【質問要旨】－簡明に－

市長の市政報告によれば、「現在、富谷塾の5期生は9月末時点で約140名。これまで延べ800名以上が塾生(内6割以上が女性)として学び40名以上が起業しております。」

とみやどについては、「しんまち地区のにぎわい創出と交流人口の拡大に貢献しています。令和4年6月25日に来場者20万人を達成(当初目標の約2倍)」、「1年1か月で来場者20万人を突破しました。」と記載されている。

とみふら・富谷塾に関して、「運営がデタラメ、近くで見えても実態がつかめない、何をやっているのか見えない」との声がある。とみふらの運営は5年で「自走」することで、この事業はスタートした。

また、病院誘致に関して、土地の無償提供、シャトルバスの運行、運営支援など、巨額の支援を表明しているが、本市の標準財政規模から、過大な財政支出ではないか。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 起業した40名以上の人に関し、年次ごとの起業件数と内訳はどのような業態でどこでなのか。そのうち、令和4年10月末現在、事業を継続している数は。
 - 2 当初予定されたとみふらの自走の進展と今後は。
 - 3 とみやどの駐車場にした富谷南裏58番地、宅地、186.83㎡の相続手続きの進展は。
 - 4 明治40年3月17日、上記同所に設定された債権額金25円84銭、利息年2割の抵当権設定解除手続きは。
 - 5 工事可能を前提としたマルシェ広場屋根設置工事をイベントステージ前・芝生広場に変更するにあたり、どのような手続きを経たか。
 - 6 当初目標の2倍の来場者数が、7月から9月までの3か月間一転して3割減少した要因は。
 - 7 病院誘致に伴う本市の財政負担の額は。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	11月15日(火)
受付時間	11:45

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月15日

富谷市議会

議長 青柳信義殿

富谷市議会議員 6 番 藤原 峻

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 図書館建設について

【質問要旨】－簡明に－

図書館建設に関して、R 4年に基本設計業務が完了しましたが、R 4年9月議会の説明で都市構造再編集中支援事業交付金の活用できる可能性が明らかになり、2分の1の国費充当が見込めます。物価高の影響があるとしても、これまでの検討よりも、負担は少なく、より充実した施設が作れる可能性が高いと考えます。

様々な機能が盛り込まれ、多くの要望を取り入れられた設計と感じていますが、反面手狭になると危惧しています。これまで多くの市民からの署名が集まり、図書館の充実に対する要望は大変大きいです。富谷市の子育ての目玉として誇れるものができるように、再度、市民要望に最大限に応えた図書館面積拡充など、質・量の更なる充実を目指し予算の再検討が必要と考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 建設予算に関してR 3年の「富谷市民図書館等複合施設整備基本方針」の補助金や交付金等の財源に追加がありますが、交付金交付額試算の想定額は。
 - 2 基本設計プロポーザルで提示されたイメージ図では様々な機能が詰め込まれており、要望が組み込まれている反面、手狭に感じます。（蔵書可能冊数、バックヤードなど）面積拡充に関する再検討も必要と考えますが見解は。
 - 3 予約ボックスなどの時間外貸出システムの運用検討は。
 - 4 児童屋内遊戯施設と図書館の空間的連動があり、音の問題が出てくるのが想定されるがどのように考えているのか。
 - 5 児童屋内遊戯施設の定員は。
 - 6 今年度に基本設計が完成しますが、来年度以降の実施設計は同じ事業者が行うのか。
 - 7 渋滞対策として、けやき通りの対向車線、第2駐車場から直接渡れるように車道、歩道の改善が必要では。
-

答弁を求める者 市長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 道路照明、案内看板の安全対策は

【質問要旨】－簡明に－

全国的に交差点などで鋼鉄製の支柱が倒れるケースがあります。三重県鈴鹿市で、信号機の耐久年数の半分以下で信号機が倒れました。交差点の別の柱付近と比較すると約42倍の尿素が検出されたそうです。三重県警は、犬の散歩コースで、「犬の尿に含まれる塩分などが原因となって腐食が通常よりも早く進んだ可能性が高い」という調査結果をまとめました。

市内を見回すと、腐食が激しい案内看板も見られます。適切な修繕ができないと、撤去や更新が必要となり、多くの事業費が必要となります。また、事故が起きてからでは遅く、市内の全点検や予防が必要と考えます。

仙台市は平成30年に「仙台市道路照明施設長寿命化修繕計画」をたてており、「対症療法型維持管理」から「予防保全型維持管理」に転換し、事故の未然防止やコスト縮減、予算の平準化に取り組むこととしています。本市の対策を問います。

【質問項目】－列記－

- 1 現状どのように問題把握と対処を行なっているのか。
- 2 富谷市の道路照明施設と案内看板は何基あり、そのうち点検済み施設はどの程度なのか。また、健全度区分による把握はできているのか。
- 3 超寿命化による維持管理のコストは検討しているのか。
- 4 支柱の再塗装や腐食の補修により、安全かつ長期的管理を視野に入れた予防保全型維持管理へ本市も転換する必要があるのでは。
- 5 総点検、定期点検（詳細点検、中間点検）を行い、損傷が大きくなる前の対処が必要では。また、自然災害時の点検は行われているか。
- 7 市民からの案内看板などの腐食に対する通報への対応状況は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 県立精神医療センター移転について

【質問要旨】－簡明に－

本市は、宮城県に用地6ヘクタールの土地の無償貸与を提案しています。しかし、誘致予定地は、調整池を5年ほど前に埋め立てたところと伺いました。地震大国である日本、東日本大震災が起きた東北です。利府長町線断層帯も近くを走っており、地震対策は絶対的に必要なものです。耐震のために杭を打つにしても莫大な予算がかかると考えますが、建設時に市の負担が発生するのか、どの程度を想定しているのか。そもそも、病院を立てる上で、宮城県は元調整池と理解しているのか、懸念しています。

また、仙南地域では、県立精神医療センターが近くにあるという地域性を軸にネットワークや支援基盤が作られてきたそうです。医療従事者は名取市や仙台市太白区在住の方が57%を占め、太白区より南の市町村在住者だけで72%を占め、持ち家比率も68%だそうです。富谷市に移転した際に夜勤に耐えられず、大量の退職者が危惧されています。精神医療センターにおける精神疾患を持つ患者さんへの配慮、家を持つ職員への配慮など、どのように考えているか伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 無償貸与予定地は元調整池で間違いないか。
- 2 調整池を埋め立てた場所の最大の深さはどの程度なのか。
- 3 宮城県は元調整池と理解しているのか。また、元調整池という理由による市の更なる負担が出てこないのか。
- 4 移動が大きな負担になる名取市在住の患者のためにも、診察は名取市で受けられるように県立精神センターの診療所を設けるなどの配慮は必要と考えます。県に提案すべきでは。
- 5 精神科医療も治療として、地域ケアが特に重要となっています。特に患者への居住支援は重要です。市営住宅の整備、県営住宅の誘致、グループホームの整備の考えは。
- 6 移転の際に、医療従事者の退職者が多くなり、職員確保が困難になるという懸念があるが、対策をどのように考えているのか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	13
受付月日	11月15日(火)
受付時間	11:50

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月15日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 15 番 安住 稔幸

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	安住 稔幸
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 学校給食費の無償化について

【質問要旨】－簡明に－

10月21日の議員全員協議会において、市長から、小中学校の児童生徒の学校給食費の無償化を、明年4月から実施するとの発表がありました。原油高騰や物価高騰による子育て世帯の経済的負担軽減などにより行うものです。保護者の皆様から、「本当に助かる」などの声をお聞きしています。

以下、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 明年4月から実施される学校給食費無償化の詳細は。
- 2 食物アレルギーなどにより、弁当持参の児童生徒への対応は。
- 3 特別支援学校に通学している児童生徒への対応は。
- 4 地元の公立校以外に通学している児童生徒の給食費を助成している自治体がありますが、私立の小中学校など、富谷市立の小中学校以外に通学している児童生徒への対応は。
- 5 不登校の児童生徒への対応は。

答弁を求める者 市長

議員名	安住 稔幸
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 更なる子育て支援について

【質問要旨】－簡明に－

本市では、インフルエンザワクチン接種費用において、重症化しやすい65歳以上の高齢者に助成をしています。しかし、6か月から13歳未満の子どもへの接種費用の助成は行われていません。6か月から13歳未満へのインフルエンザワクチンは、2回接種することとなっており、保護者の負担が大変大きいものです。

子育て支援として、出産前の支援、妊婦への支援も欠かせません。本市は、妊婦健康診査やプレママ・プレパパ学級などに取り組んでいますが、更なる支援に取り組むべきと考えます。

また、富谷市民図書館が、令和7年度の開館に向けて進められています。子どもの読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。赤ちゃんへの読み聞かせでは、子どもは「守られている」と感じ、「心地良い居場所」になるといいます。赤ちゃんと向き合う時は、親にとっても忙しい子育ての中で心安らぐ楽しいひとときにもなります。絵本の読み聞かせを通じて、愛情を深めていくきっかけになるのが、ブックスタートです。富谷市民図書館が開館に向けて準備が進められているこの時に、富谷市のブックスタートの実施が必要と考えます。

以下、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 インフルエンザワクチン接種で6か月から13歳未満の子どもへの接種費用の助成は。
- 2 伴走型相談支援として、妊婦への全戸個別面談と訪問の実施とともに、商品券等の支援金支給は。
- 3 プレママ・プレパパ学級等の事業の休日開催は。
- 4 ブックスタートの実施は。
- 5 幼稚園等の未就学児の給食費の無償化を実施している自治体がありますが、本市での実施は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 L G B T等のセクシュアル・マイノリティへの配慮した対応について

【質問要旨】－簡明に－

「男女共同参画社会基本法」や「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」が制定され、性の多様性についての理解や配慮を求める動きが広まりつつあります。

住民基本台帳法は「住民票の写し」に性別を記載するよう定めていますが、性的少数者にとって性別が書かれた文書に苦痛を感じる人がいます。そのため国は、性別の記載のない住民票記載事項証明書の交付は可能としました。印鑑登録証明書についても性別を明記しなくても差し支えないとしました。健康保険被保険者証については、やむを得ない理由があると判断できる場合には、保険証の性別表記を変更して交付することができるようになりました。そのほか、自治体において、各種申請書等における性別欄の必要性や記載の方法についても見直しが行われています。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 住民票記載事項証明書の性別記載の有無の選択、印鑑登録証明書の性別欄の削除は。
- 2 健康保険証の表の性別表記の変更は。
- 3 各種申請書等の様式における性別欄の見直しは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	14
受付月日	11月15日(火)
受付時間	11:55

一 般 質 問 通 告 書

令和 4年11月15日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 4 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和4年第4回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 市長 2 期目の実績と今後は

【質問要旨】－簡明に－

本市は、「住みたくなるまち日本一」を掲げ常に先進的な取り組みを実施するとともに、新型コロナワクチン接種は関係機関と連携し、迅速に進めました。長期化するコロナ禍への経済支援では、本市独自の各種支援事業を実施してきました。その結果、富谷市は民間調査機関による「街の住みこちランキング2022」等の自治体評価ランキングにおいて、令和元年度から連続して、県内一位、東北一位の高い評価を得ることができました。

引き続き、市民の声に誠実に、現状の課題と中長期的な未来を見据えた市政運営を求め、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 総合病院誘致の実現に向けて、取り組み状況は。
- 2 公営墓地パークゴルフ場整備の進捗状況と公営墓地の募集開始時期は。
- 3 泉中央駅から明石台地区までの地下鉄整備に係る取り組み状況と実現の可能性は。
- 4 令和5年度から実現を目指す学校給食費の完全無償化の詳細は。
- 5 令和5年度から実現を目指す子ども医療費初診料無料化の詳細は。
- 6 国保税の引き下げの検討状況と実現の可能性は。
- 7 待機児童ゼロへの取り組み状況と今後の見通しは。
- 8 東向陽台小学校の放課後児童クラブ棟の建替え検討状況は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 市民図書館等複合施設整備を問う

【質問要旨】－簡明に－

富谷市民図書館等複合施設整備は、基本設計プロポーザルで設計者が選定され、いよいよ基本設計が始まります。10月30日には、富谷の未来の複合施設を考える、市民参加型のワークショップのキックオフ会が開催されました。

教育民生常任委員会では、先月10月26日に図書館を中心とした大和市文化創造拠点「シリウス」の取り組みについて、所管事務調査を行いました。

視察先の施設は、開館から3年で累計来館者数1,000万人を超えた図書館で、来館者数は日本一と言われています。

大和市の施設とは規模的に大きな開きがありますが、今回の調査を踏まえ、令和7年度中の開館を目指している富谷市民図書館等複合施設の整備計画について、より前向きな議論を深めていきたいと考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 館内ならどこでも飲み物と一緒に図書館の本を読むことができるようにすることが望まれるが、見解は。
- 2 ICタグによる蔵書管理システムの予定は。
- 3 図書除菌機の設置の予定は。
- 4 市民サービス向上のため、図書館の夜間利用が望まれるが、見解は。
- 5 保護者の一時的なリフレッシュなど、館内に一時預かり保育室を設けることが望まれるが、見解は。

答弁を求める者 市長